

第51回炉物理夏期セミナー 若手研究会 実施報告

学生・若手小委員会担当幹事

竹田敏 (大阪大学)

村上洋平 (日立製作所)

日時：2019年8月6日(火) 20:00~22:00

内容：若手研究者によるグループ議論、発表

若手研究会には30名以上の若手が参加し、昨年度と同様にグループワークによる議論および発表を実施した。前半の部では各講義の要点を学生グループ内で議論したうえで発表し、若手社会人が発表に対してコメントすることで講義の要点を確認した。また、後半の部では、2017年炉物理ロードマップにおいて優先して取り組むべき項目として挙げられている人材像の提示をテーマとして、学生と若手社会人がグループに分かれて議論および発表を実施した。講義内容の理解を深め、目指すべき人物像等の議論ができただけでなく、若手研究者の交流を深めることができた。

○前半の部 (学生) 20:00-20:30、(学生+若手社会人) 20:30-21:00

講義1~4の要点を学生がまとめて発表し、理解の助けになるよう、若手社会人との議論を実施した。多くの学生から、発表と質疑応答をとおして講義内容の理解が深まったとの意見があり、有意義な場であった。

○後半の部 (学生+若手社会人) 21:00-22:00

炉物理を専門とする人材に対する人材像および炉物理を専門としない(原子力に従事する)人材に対する人材像の議論を実施した。学生と若手社会人の議論が活発に行われ、交流を深める良い機会となった。



図1 若手研究会での議論の様子